

令和2年度第7回稲武地域会議 会議録

- 日 時 令和2年10月15日（木）午後7時～午後8時40分
 - 場 所 稲武交流館 多目的ホール
 - 出席者 <地域会議委員16名> 青木一紀、安藤真也、石原早苗、伊藤正子、大島年春、鎌田寿子、高崎太一郎、瀧澤美智子、佐藤克彦、新見広高、西尾達生、林勝士、林久資、古橋崇史、松原尚矢、山田純佑
<稲武交流館> 寺澤
<事務局5名> 杉山、前田、伊藤（亮）、加藤、田澤
 - 欠席者 <地域会議委員4名> 奥田清美、河澄泰英、後藤太、古橋久三、
 - 次 第
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 報告事項
 - (1) わくわく事業の活動報告について
 - (2) ACCR CENTRAL RALLY 2020 の開催について（資料1）
 - 4 協議事項
 - (1) 地域予算提案事業の新規事業の検討について （資料2）
 - 5 その他
 - (1) 各委員からの連絡事項
 - (2) 事務局からの連絡事項
-

【議 事】（要約）

3 報告事項

- (1) わくわく事業の活動状況について
 - ・ 事務局が、「いなぶ健康アカデミー」の活動状況を報告した。
- (2) ACCR CENTRAL RALLY 2020 の開催について
 - ・ 事務局が、11月22日に稲武地区で開催されるクラシックカーラリーの概要、道路規制予定等について説明した。

4 協議事項

(1) 地域予算提案事業の新規事業の検討について

- ・ 前回に引き続き、令和4年度から実施する新規事業を検討するため、以下の4つのテーマに分かれてグループワークを行った。その後、各グループの代表者が、「地域が抱えている課題」と「行いたい事業」について発表した。
 - A：高齢者・福祉
 - B：子ども・子育て・教育
 - C：定住・雇用・空き家
 - D：観光・産業
- ・ Aグループは3名、Bグループは3名、Cグループは4名、Dグループは5名の構成で意見交換を行った。
- ・ 発表内容は以下のとおりである。
 - A：高齢者・福祉
高齢化が進むと様々な生活が困難になってしまう。
 - (仮称)福祉コンシェルジュの設立、社会福祉協議会と連携した訪問サポーターの導入などにより、元気な高齢者を増やす。
 - B：子ども・子育て・教育
子どもを育てやすい生活環境を作る必要がある。
 - 子どもたちがアンケートや教師や保護者へのヒアリングなどを行い、自分たちでできる住みよいまちづくりを考え、地域の大人にも提案するような「(仮称)子ども地域会議」の実施。
 - 地区内のボランティアによる子どもの見守り活動、学童保育
 - アスリートなどの専門の外部コーチを活用した技術指導、体づくり、生活習慣改善講座などの実施
 - C：定住・雇用・空き家
空き家所有者及び利用希望者の多様化するニーズへの対応
 - 空き家所有者への制度活用方法等の啓発
 - 昨年度に作成した啓発グッズ(パンフ、カレンダー等)のブラッシュアップ、増刷
 - D：観光・産業
稲武の観光を道の駅だけで終わらせず、滞在時間を延ばしたい。
 - 名倉川遊歩道の景観整備(支障木伐採)、補修
 - 既存遊歩道と接続する新たな遊歩道の整備

5 その他

(1) 各委員からの連絡事項

- ・ 瀧澤委員が、今年度のもみじ狩りと城山で行われるイベントについて説明した。

(2) 事務局からの連絡事項

- ・ 事務局が、10月27日にオンラインで行われるトークイベント「豊田市の山村地域で何かをやりたい人大集合」の概要等を説明した。

【次回開催】

- ・ 令和2年度第8回稲武地域会議 11月19日(木) 午後7時から